

特定非営利活動法人パーソナルコンピュータ利用技術学会
論文誌投稿規程

(平成28年9月25日改定)

『パーソナルコンピュータ利用技術学会論文誌』の発行は、学会定款の目的を達成するため、多くの方に研究発表の場を提供するためのものである。

1. 編集方針

- (1) なるべく多くの方が投稿原稿掲載の機会を持てるようにする。
- (2) 多くの方が興味を持って読める投稿原稿を掲載する。
- (3) 投稿原稿の中には少なくとも「パーソナルコンピュータ利用技術」の学術的發展に資する考察があること。
- (4) 投稿原稿は、そのオリジナリティ部分が他の論文誌に投稿中または掲載されているものでないこと。
- (5) 論文執筆の言語は、原則として日本語とする。

2. 投稿上の手続き

- (1) 原稿は、学会Webページに掲載している雛形を使用して、データファイルにしたものをe-mailで提出する。
- (2) データファイルの形式は、A列4番の原稿ファイル及びそれをPDF化したファイルとする。
- (3) 原稿内の図・表・写真は、カラーページを希望しない場合には、グレースケールとする。
- (4) 著者紹介に著者近影の写真を入れる場合には、jpeg形式のファイルで、原稿と共に提出する。
- (5) 原稿の投稿時に、投稿通知書の該当欄に次の事項を記述して提出する。

投稿者(代表者)の所属、氏名(平仮名による読み)、連絡先住所または所在地、電話番号、e-mailアドレス、会員/非会員の別・会員種別、抜刷希望部数、請求書の宛名、請求書の送付先。

投稿時チェックリストの該当欄にチェックした印を入れる。

3. 執筆の要領

3. 1 原稿の形式と文量

原稿の文量は、図表などを含め 25,920字(24字×45行×2段×12頁)以内とする。

3. 2 タイトル部分

表題：邦題と英題との両方を必ず記述する。表題の文字量は 30 字程度で、副題を記述する場合、主題を改行し、和文には2 バイト漢文字の文字（全角文字）のハイフン"ー"を副題の前後に、英文は1 バイト符号の文字（半角文字）のハイフン"- "を副題の前後に記す。

著者名：日本字表記と英字表記とを必ず記入。英語表記のファーストネームとラストネームの間は半角分のスペースをおき、ラストネームは全て大文字で記述する。

所属：日本語表記と英語表記とを必ず記す。

要旨：和文概要と英文概要との両方で記述し、和文は 500 字、英文は 200 語以内におさめる。

キーワード：日本語と英語とでそれぞれ5個以内を簡潔な単語で記す。

3. 3 本文

本文の内容には、「緒言」、「目的」、「方法」、「結果」、「考察(結論)」を含むものとする。謝辞、注、参考文献を含める場合は後述の書式に準拠するものとする。

文体は「である調」とし、句読点は「。」および「，」を用いる。

英数字記号には半角文字を使用する。

片仮名には全角文字を使用する。

和文には全角コンマ、全角コロンを用いる。

英文には半角コンマ、半角コロン、半角ピリオドを用いる。

英文の書き方は原則として和文に準じるものとする。

3. 3. 1 見出し

「1. はじめに」等から始めて、最後は「N. おわりに」で終わるものとする。

各節における節番号は半角数字を用い、数字を「.」（半角ピリオド）で区切る。節番号と節見出しの間は全角の間隔文字で 1 字空け、項目の場合は、番号の前を全角の間隔文字で1 字空ける。

区分例

節	1. はじめに
項目	1.1 ○○○
	1.1.1 ○○○
以下	(1), (2), (3), 1), 2), 3),

3. 3. 2 図・表・写真

図・表・写真などを引用する場合には、その所有者の了解を得た上で、その出典を明記する。

表は次の例のように両側縦罫線を引かずに作成する。

表1. 表の説明

3. 3. 3 プログラム及び大量の数値データ

原稿内にプログラムや大量の数値データがあるときは、8ポイント1段組みとする。

3. 4 参考文献および注

参考文献 (References) および注 (Notes) はそれぞれについて通し番号とし、参考文献には [1], [2], ... のような番号を付し、注には (1), (2), ... の番号を語の右肩に付ける。参考文献は原則として、雑誌の場合には、著者：標題，雑誌名，巻，号，ページ，（発行年）を，単行本の場合には，著者：書名，ページ，発行所，（発行年）を，この順に記す。和文には，全角コンマ，全角コロンを用い，英文には，半角コンマ，半角コロンを用いる。半角コンマの直後には半角スペースを入れる。

和文引用文献の著者名は，姓名を記述し，姓と名の間にはスペースをおかない。英文引用文献の著者名は，Michinori Yamashita → M. Yamashita のように given name, middle name のイニシャルの後にピリオドを付けて半角分のスペースをおき，family name を続けて表記する。複数著者は和文の場合は著者をカンマで繋ぎ，英文の場合は，A, B and C のように繋ぐ。著者が多い場合には，次のように適宜省略してもよい。

和文：山下倫範，上山俊幸ほか

英文：M. Yamashita, T. Ueyama, *et al.*

雑誌の場合，Vol.をつけて巻，No.をつけて号を記述する。ページ番号は，単数ページの場合，半角英数の"p."を記述し，ページ番号を記述する。複数ページの場合，半角英数の"pp."を記述し，最初のページ番号と最後のページ番号を半角英数のハイフン"-"で繋ぐ。発行年は，半角括弧"()"で括る。

Webページの場合，以下のように記載する。（注：独立行政法人科学技術振興機構が制定したSIST（科学技術情報流通技術基準）の中の{参照文献の書き方}に拠る）

著者名．“ウェブページの題名”，ウェブサイトの名称，更新日付，（言語の表示），（媒体表示），入手先，（入手日付）．

ブログの場合はブログ名と更新日付を入れることが好ましい。

記入例の[3]は，Webサイト「J-STORE」に掲載された記事の場合である。

記入例：

- [1] 鈴木一郎, 佐藤太郎：パソコン利用技術の将来, パソコンリテラシ, Vol.35, No.11, pp.125-130 (2007)
- [2] T. Horiike, T. Hamada, D. Miyata, and T. Shinozawa: The origin of eukaryotes I is suggested as the symbiosis of pyrococcus into gamma-proteobacteria by phylogenetic tree based on gene content, *Journal of Molecular Evolution*, Vol.59, No.5, pp.609-619 (2004)
- [3] 伴和夫編, “パルスレーザアブレーションにおけるドロップレットフリー薄膜の作製技術”, J-STORE, 2005-11-01, http://jstore.jst.go.jp/cgi-bin/techeye/detail.cgi?techeye_id=32, (参照 2006-06-23)

本文中では [1] , [2] , [3] として出典を示す。

3. 5 著者紹介

著者紹介文をそれぞれの著者について, 250字以内で記述する。

4. 投稿原稿の送付先

特定非営利活動法人パーソナルコンピュータ利用技術学会 論文誌編集委員会
j-desk@jpcats.net

5. 校正について

原則として, 校正は行わない。

6. 学会論文誌の発行時期

原則として年2回(7月31日及び1月31日)とするが, 投稿原稿の本数が少ないと論文誌編集委員会が判断した場合には, 年1回のみの発行とする。

7. 投稿から発行までの流れ

投稿原稿の受付時期を通常期(4月1日～6月15日及び10月1日～12月15日)と繁忙期(6月16日～9月30日及び12月16日～3月31日)とに分け, それぞれの期間に於いて次の手順で, 査読の上, 採否を決定する。

投稿(随時受付)

↓

投稿規程にかなっているか?(No→投稿者に返却)

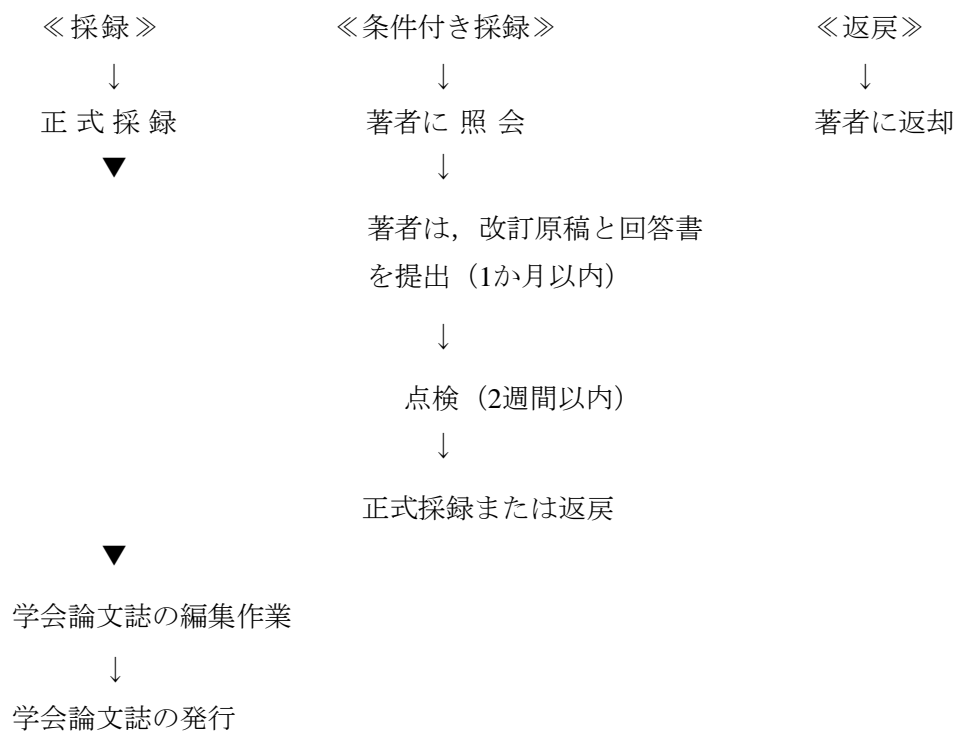
↓ Yes

《受領》

↓

査読(査読者複数名決定後, 通常期は1か月以内, 繁忙期は2か月以内に査読の上採否を決定する)

査読者名の開示には一切応じない。



8. 掲載原稿の種別

投稿原稿の査読の過程で、論文としての採録の他に、研究は完成していないが着眼点に価値のあるものを研究ノート、パーソナルコンピュータの利用技術に関して新規性が認められるものを解説、他の研究者の調査や公表データを用いて問題点を指摘したものを報告として採録するという判断を行うことがある。

以上